

埼玉選手権大会・競技注意事項

1 本競技会は、2023年（公財）日本陸上競技連盟規則により行う。

2 ナンバーカード

- ・ナンバーカードは登録番号（高校・中学は割当番号）。各自で用意し胸と背に確実に着けること。
- ・跳躍競技は胸、背のどちらか1枚で良い。
- ・以下の種目については腰ナンバーカードを使用する（胸・背は登録番号）。
800m以上のトラック種目（左右腰）、1600mRアンカー（左右腰）。
本部用意の腰ナンバーカードは招集所にて配布する。安全ピンは各自用意のこと。

3 招集

招集は北サブゲート（200mスタート外側）に設置し、招集時間は競技日程に記載の通りとする。

◆一般種目

トラック競技15分前、跳躍競技50分前（棒高跳は60分前）、投てき競技50分前完了。

4 リレー競技

- ①リレーチームの編成についてはTR24, 10による。
- ②オーダー用紙は各ラウンドの第1組の招集完了時刻の1時間前までに、オーダー用紙を招集所に提出すること。また、準決勝においてもメンバー、オーダーの変更の有無にかかわらずオーダー用紙を予選に準じて招集所に提出すること。但し、4×100mRの決勝のみオーダー用紙の提出は招集完了時刻とする。各ラウンドにおいて提出無き場合は棄権とみなす。
- ③同一チームの競技者は同一のユニフォームを着用することが望ましい。
- ④オーダー用紙はTICにて配布し、招集所に提出する。
- ⑤リレーで使用したマーク（テープ等）は各校が責任を持って除去すること。

5 競技・抗議

- ①**今大会のトラック競技においてセパレートレーンで実施する種目については、欠場届の提出をもとに番組編成を行います。大会前日までは埼玉陸協事務局へメールかFAXにて、大会当日はを競技開始120分前までに招集所（北サブゲート）に欠場届を提出ください。競技開始90分前には速報サイトにて番組編成を発表する方式をとります。**
- ②タイムによる「+α」のある競技種目は、TR20・TR21により決定する。
同記録が出た場合は1000分の1秒単位を考慮して判定し、それでも決められない場合は抽選とする。
抽選対象者（代理人でも可）は呼び出しの放送後10分以内を目途にTICに集合すること。
- ③1500mの同タイム者は次のラウンドに進むことができる。
- ④TR6. 3. 2により、ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話、スマートフォンもしくは類似の機器を競技場内で所持、使用はできない。
- ⑤棄権する場合は、欠場届（TICにて配布）を招集所に提出のこと。
- ⑥競技が開始されたら競技者は練習の目的で次のものを使用する事はできない。（a）助走路や踏切場所
（b）棒高跳用ポール（審判長が認めた区域において使用可とする）（c）投てき用具（投てき物）（d）サークルや着地場所
- ⑦競技者は競技進行に協力し、服装・ナンバーカード等は正しくすること。
- ⑧抗議についてはTR8による。

6 競技用靴・用器具

- ①シューズの厚さが種目ごとに定義されている。
フィールド競技は、靴底（ソール）全体20mm（かかと含む）、走幅跳は20mm（ただし前部が踵部より厚くなってはならない）。三段跳は25mm。トラック種目 800m未満の種目は20mm、800m以上の種目は25mm。

ただしトラックで実施される競歩だけはロードのルールを適用。スパイクピンの長さはトラック 9 mm、走高跳・やり投は 12 mm 以下とする。また、スパイクピンは先端の近くで少なくとも長さの半分は直径 4 mm 四方の定規に適合していなければならない。

- ②競技に使用する用具は、すべて競技場備え付けのものを使用する事。ただし、棒高跳用ポール、投てき用具は個人所有のものを検査の上使用する事ができる。投てき用具の検査は、各種目の競技開始 1 時間 30 分前から 30 分間、101 器具倉庫にて行う。棒高跳用ポールは競技場所において随時検査を行う。
- ③フィールド競技で助走路に使用できるマーカーは 2 個まで置くことができる。サークルから行う競技はマーカーを 1 個だけ使用することができる。
- ④走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。ただし、天候等により変更の場合もある。

		練習	最初の高さ				
棒高跳	男	4 m 1 0	4 m 2 0	4 m 4 0	4 m 6 0	4 m 7 0	4 m 8 0
	女	3 m 0 0	3 m 1 0	3 m 2 0	3 m 3 0	3 m 4 0	3 m 5 0
走高跳	男	1 m 8 0	1 m 8 5	1 m 9 0	1 m 9 5	1 m 9 8	2 m 0 1
	女	1 m 4 5	1 m 5 0	1 m 5 5	1 m 6 0	1 m 6 3	1 m 6 6

- ⑤投てき競技は砲丸投とやり投を除いて、すべて投てき場で行う。

7 練習場について（メイン競技場では練習はできません）

① 補助競技場

<直線走路>

- ・ 1. 2. 3 レーン…中長距離（ジョグはレーン外で行うこと）
- ・ 4. 5. 6 レーン…短距離、スタートダッシュ練習
- ・ 7 レーン……………女子 100 mH
- ・ 8 レーン……………男子 110 mH

<コーナー及びバックストレート>

- ・ 400 mH はホームストレートを除く 7. 8 レーンに設置すること。

<フィールド内>

- ・ 投てき練習は禁止とする。

<その他>

- ・ ジョグは 1～8 レーン以外で行うこと。
- ・ 事故防止のため逆走は避けること。
- ・ バトン練習や器具を用いての練習は周囲に「声」をかけ、事故の無いように十分注意すること。
- ・ ハードルは決められたレーン以外には設置しないこと。
- ・ 跳躍種目のマット等については、競技が終了した者は原則として使用しないこと。

② 投てき練習場

- ・ 投てき用具は各自が持参すること。

③ 雨天練習場（バックスタンド下）

- ・ 練習場への出入りについては、競技場の外側から入れるが、係の指示に従うこと。北サブゲートからの入場はできない。
- ・ 途中の扉からの競技場への出入りはしないこと。
- ・ 練習以外の使用は厳禁とする。

■練習場使用時間（メイン競技場では練習はできません）

6/24（土）

補助競技場 7:30～17:00

雨天練習場 9:00～16:30

投てき場 砲丸投 男子 7:30～9:00 女子 11:30～12:30

円盤投 女子 7:30～9:00 (B) 男子 11:30～12:30 (B)

やり投 男子 7:30～9:00 女子 11:30～12:30

6/25（日）

補助競技場 7:30～15:30

雨天練習場 9:00～14:30

投てき場 ハンマー投 男子 7:30～9:00 女子 11:30～12:30

8 その他

- ①競技者は招集所からスタート地点までは原則として競技場の内側を通り競技地点へ行くこと。またカラーコーンを設置してある場所はそれに従うこと。特にメインスタンド前の通行は厳に慎むこと。
- ②競技者以外の者はトラック／フィールドに絶対に入らないこと。応援は必ずスタンドで行い、集団での連呼なども慎むこと。また、競技者は他の競技者の応援をしてはならない。
- ③競技場内では、指定された場所以外には荷物を置かないこと。
- ④主競技場でのウォーミングアップは禁止する。
- ⑤競技者は審判役員の指示に従い事故の無いよう留意すること。また、「組」「試技順」を確認し競技進行に協力すること。
- ⑥補助競技場ではすべての投てき練習を禁止する。周囲に支障の無い場所でのテントの設営は許可するが、シートは毎日片付けること。
- ⑦部旗の掲揚ポールの使用は各団体1本とする。横断幕・のぼりについてはスタンド上部の柵のみ設置、掲揚可とする。
- ⑧貴重品は各自、各団体で責任を持って保管し、盗難、紛失等に十分注意すること。
- ⑨団体受付、競技者の招集・棄権について（受付場所：本競技場正面玄関すぐ）
全参加者は、最初の参加種目1時間前までに本競技場正面玄関に設置されるTICにて必ず受付を行うこと。受付は一次コールを兼ねて行い、参加申込一覧表の提出、棄権者の申告をし、その際にプログラムを受け取ること。受付時間は各日12時までとする。
- ⑩競技場周辺の店舗、民家、またはスポーツ文化公園の利用者に迷惑となる行為は厳に慎むこと。
- ⑪個人情報の取扱について
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。
- ⑫本大会は国民体育大会埼玉県選手の選手選考会となります。
- ⑬駐車場について
競技会関係車輛は陸上競技場駐車場を利用すること。
- ⑭観覧席について
有観客試合とする。
- ⑮競技会開催における基本的な感染対策
 - ・こまめな手洗いまたは手指の消毒を行い、手を清潔に保つ。
 - ・咳エチケットを守る。

・ 3 密を回避の励行

- 1) 密閉空間（効果的な換気が実施されていない）
- 2) 密集場所（多くの人が密集している）
- 3) 密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）

⑯その他

- ・ 競技会運営上の連絡事項及び追加注意事項（競技日程変更等）が発生した場合は、アナウンスまたは受付にて掲示し、各参加団体へ連絡を行う。
- ・ 競技結果または行為に関する抗議がある場合は、結果の正式発表（結果アナウンス）後、30分以内に大会参加申込責任者が受付まで申し出ること。

⑰事故・盗難・紛失・ゴミ処理について

盗難・紛失について、主催者側で発見した物品については一時保管するが、その他のものについて一切の責任を負わない。

また、発生したゴミについては、各団体が責任を持って持ち帰ること。

⑱競技中の事故等について

競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以後の責任は負わない。ただし、スポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

⑲喫煙について

競技場内・建物内は全て禁煙とし、指定された場所のみ許可する。

前日までの連絡先 埼玉陸協事務局 メール saitamatf@yacht.ocn.ne.jp

F A X 048-772-4566

不明な点は下記連絡先及び当日に大会受付にて問い合わせること。

＜担当・お問い合わせ先＞ 埼玉陸協事務局 048-771-4248